

おひなさま、 飾ってみました。

総合会館 2 階「善通寺市立郷土館」にて『ひな人形』展示中。



※写真は、昭和 30 年ごろのおひなさま。

3月3日のひな祭りには、よもぎ餅やひなあられ、「ふくらんご」という野菜やえびす様などを形どったお菓子をつるした柳の枝、桃の花を飾ってお祝いをした。香川には、子供達が家々の雛飾りをみてまわり、ひなあられをもらう「ヒナアラシ」という風習があった。

明治から昭和の中頃まで各地で作られていた「土雛」。

素焼きした人形に泥絵の具で彩色したもので、素朴ながらも親しみのある表情がかわいらしい。



ふくらんご

米の粉でつくったお菓子。野菜やえびす様をかたどって、カラフルな色をつけたもの。柳の枝につるして、桃の花と一緒に飾る。



3月3日の「桃の節句」には、女の子の成長と幸福を願い、ひな人形を飾ります。年中行事として定着している「ひな祭り」ですが、様々な種類の人形や雛道具が作られ、豪華な雛飾りになったのは江戸時代以降のようです。ひな人形とともに市松人形を飾ったり、柳の枝に「ふくらんご」という野菜やえびす様をかたどった菓子を吊るしたものや桃の花、よもぎ餅、ひなあられ、白酒などをお供えしました。

